

古典を親しみやすい教科にするために

— 百人一首と流行歌の語彙の異同に着目し、授業案を提案する —

松 尾 歩

1. はじめに

「古典」は、文法事項や単語が難しい、何のために勉強するのか分からない、といった理由で敬遠されがちな教科である。しかしながら、「古典」の中には日本人特有の感受性や感情表現があり、それが現代の私たちにまで受け継がれているということを知る上で重要な教科であるともいえる。

そこで本稿では、古典をより親しみやすい教科にするために、主に古文に焦点を当てて考察を進めたい。まず、小中高等学校で誰もが一度は触れる機会のある百人一首の語彙と、今の中学高校生にとって身近であり、かつ親しみやすい流行歌の語彙とを比較する。その後、百人一首と現代の流行歌を結びつけ、古典に興味・関心を持ってもらえるような授業案を提案する。

2. 先行研究

2. 1. 先行研究の概観

本節では先行研究について述べる。具体的には、現代の高校生の古文に対する意識の調査結果、古典教育の指導上の改善点、百人一首の語彙、流行歌の語彙、百人一首の教材化、百人一首を活用した授業の事例、古典に親しみを持たせる授業の指導とその事例、の順にみていくことにする。その後、本稿の位置付けを行う。

2. 2. 現代の高校生の古文に対する意識

はじめに、今の高校生が学校で学習する古文をどう思っているのかについて述べたい。鳴島（2007）がすでに指摘しているように、国立教育政策研究所教

育課程教育センターが公表した『平成 17 年度高等学校教育課程実施状況調査前回調査』中の「国語総合」に関する質問の中で、「古文が好きだ」という項目に対して生徒が答えた結果は以下のようになる。

○古文は好きだ

- ・そう思う 8.5%
- ・どちらかといえばそう思う 14.6%
- ・どちらかといえばそう思わない 21.5%
- ・そう思わない 51.2%
- (・分からない 4.0% ・無回答 0.3%)

「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の割合を足すと、約 7 割もの生徒が古文は好きではないと答えている。このことから、古文に対するマイナスイメージが大きく、古文を苦手としている生徒が多いことが既に分かっている。

2. 3. 古典教育の指導上の改善点

西辻 (2005) は、高等学校における今後の古典教育について、詳細な文法指導に偏らず、音読や暗唱、近代小説と典拠した古典作品との読み比べ等の多様な言語活動を取り入れた授業を展開することを提案している。加えて、古典に対する興味・関心を高めるために、古典と現代のつながりを実感させること、季節や年中行事に注目させることが必要であると指摘している。

2. 4. 百人一首の語彙

百人一首に関する研究は多くあるが、ここでは百人一首の語彙に関するものを述べる。武田 (1979) は、百人一首に用いられている単語を、品詞別・頻度別に分けて各品詞の語彙の特徴について指摘している。

調査結果から武田 (1979) は、百人一首で使用されている語彙は日常的に用いられる基本語彙ともいべきものがその中心を占めていると述べている。また、百人一首では人間の心情を露骨に表現しているものが少なく、花鳥風月に托するなどして、自分の心情を婉曲に表現しているものであり、そこに「やまとうた」や古い日本人に共通する性格が表れていると指摘している。

2. 5. 流行歌の語彙

次に流行歌の語彙について述べたい。濱田 (2005) は、日本語学習者に適した教材開発という観点から、1960 年代～2000 年代の流行歌 100 曲を調査して

いる。調査の結果、一番多く使用されているのは「あなた」で、恋人に対する呼びかけとして用いられている。この他に「わたし」が第6位、「君」が第20位、「誰」が第26位、「僕」が第35位というように、人称代名詞が流行歌の歌詞の中ではよく使用されていると指摘している。

2. 6. 百人一首の教材化

百人一首を教材化する試みには、山田（2005）の研究がある。山田（2005）は、百人一首を「恋の歌」「人生の歌」「自然の歌」の3つのカテゴリーに分類し、再構成することで、生徒が歌のテーマを理解しやすく、また作者同士の関係性も分かりやすくなる教材作りを行っている。

2. 7. 百人一首を活用した古典教育の事例

百人一首を活用した高等学校の古典教育の実践事例に、奥村（2008）がある。奥村（2008）は、冬休みの課題として「ひとり一首、百人一首を自分の三十一字で翻訳する」ことを課し、優秀作品を表彰している。この課題は新年に実施している一年次クラス対抗かるた大会への動機付けであるとともに、現代文・古文の発展学習として捉えられている。

2. 8. 古典に親しみを持たせる指導とその事例

古典指導の事例は数多くあるが、ここではその中でも古典に親しみを持たせるということに力点を置いているものについて述べる。河合（2003）は、生徒が古典を楽しく学習するために、当時の風俗や食べ物、遊びについてなど、現代の高校生が興味を抱くような話題を教師が提供することで、楽しい雰囲気での授業になると述べている。そのためには教員の工夫が不可欠であり、教員が古典の面白さを引き出す必要があるとも指摘している。

また、鎌田（2006）は、高等学校での古典入門期指導の取り組みとして、学習者が古典に親しめるよう、現代にも通じる学習テーマを設定して『徒然草』の学習指導を行っている。『徒然草』に出てくる「勘違い」を題材として、「勘違い」に対する兼好の考え方と現代の人が考える「勘違い」を比較することで、生徒が親しみを持って古典を読めるようにしている。

親しみの持てる古典指導として、五十嵐（2010）は、歌唱教材「仰げば尊し」を取り上げ、歌詞に出てくる「いくとせ」や「いととし」などの和語や、「今こそ別れめ」「まぞなき」などの係り結びの法則に着目させた指導を行っている。また、古今異義語を示し、現代語でも普通に用いられている言葉について、そ

の語源や派生語、用例を示しながら古語としての語義を指導している。

石原（2011）は、源氏物語の現代語訳を読み比べるという手法で親しみやすい古文の授業を展開している。複数の現代語訳を読み比べることで現代語訳者の視点や執筆意図に気づき、また生徒独自の視点を養おうとする取り組みである。

このように、古典を親しみの持てる教科にする取り組みは数多く行われており、西辻（2005）の指摘のように、現代語と古語のつながりを持たせることが大切であることが分かる。

2. 9. 本稿の位置づけ

前述の2.2～2.8で見た通り、百人一首の語彙や流行歌の語彙に関する研究、百人一首の教材化や百人一首を活用した授業事例、古典に親しみを持たせる指導の事例については既に取り組みがある。また、古典を親しみやすい教科にするには現代との結びつきが重要であることも分かっている。しかし一方で、生徒にとって親しみのある流行歌、百人一首の双方を結びつけたような事例は管見の限りなかった。そこで本稿では次節のような調査を行い、百人一首の語彙と流行歌の語彙を結びつけ、生徒にとって親しみやすい古典教育とは何かを考察した。

3. 調査資料と調査方法

調査対象は流行歌100曲と百人一首の各和歌（100首）とした。

まず、流行歌については、2006～2010年度の曲のうち、オリコンチャート上位20曲と着うたダウンロード数上位20曲、合わせて40曲の中から各年度20曲ずつ、計100曲を選んだ。次に、1番のサビの部分単語で区切り、それぞれの単語の数を頻度数として数え、形容詞・形容動詞・動詞・名詞・代名詞を品詞別、頻度数が高い順に分類した。百人一首が三十一字という限られた文字数で詠まれた歌であるため、流行歌の調査対象をサビの部分のみとした。また、同じ曲に繰り返し出てくる言葉は1回として数え、100曲中に出てくる回数を数えた。

百人一首で使用されている単語も同様に、形容詞、形容動詞、動詞、名詞、代名詞の出現頻度を数え、頻度が高い順に分類した。以下に、単語で区切った例を百人一首の1番歌で示す。

〈例〉

・秋の田の 仮庵の庵の 苦をあらみ わが衣手は 露にぬれつつ

(1 番歌 天智天皇)

秋	名詞
の	助詞 (格)
田	名詞
の	助詞 (格)
仮庵	名詞
の	助詞 (格)
庵	名詞
の	助詞 (格)
苦	名詞
を	助詞 (間)
あら	形容詞
み	接尾
わ	代名詞
が	助詞 (格)
衣手	名詞
は	助詞 (係)
露	名詞
に	助詞 (格)
ぬれ	動詞
つつ	助詞 (接続)

品詞を5つに絞ったのは、この5つが日本語の意味上で大きな役割を持っている（用言と体言はこの5つによって構成されている）と考えられるからである。

それぞれの語彙を品詞別、頻度数が高い順に分類をした後は、百人一首で頻度数が高かった言葉が流行歌ではどの言葉に対応するのか、反対に流行歌で頻度数が高かった言葉が百人一首ではどの言葉に対応するのかを示した¹。

4. 調査結果

本節では調査結果を表で示す。形容詞は頻度数が上位4つ²、動詞、名詞、代名詞は上位5つずつ示した。なお、形容動詞は百人一首、流行歌ともに総単語数が少なかったためここでは割愛した。また、表中の「×」は対応する単語がなかったことを表している。最初に、百人一首で頻度が高かった単語と流行歌の単語の対応について示したい。

〈表1 百人一首で頻度が高かった単語と流行歌の単語の対応〉

形容詞					
順位	百人一首の単語	頻度数		流行歌の単語	頻度数
1	なし	6	→	ない	8
2	惜し	5	→	いとしい	1
3	憂し	4	→	辛い	4
3	恋し	4	→	×	
4	つれなし	2	→	×	
4	久し	2	→	×	
4	長し	2	→	長い	1
4	同じ	2	→	同じ(名詞)	4
4	悲し	2	→	悲しい	3
動詞					
順位	百人一首の単語	頻度数		流行歌の単語	頻度数
1	思ふ	13	→	思う、想う	6
2	知る	11	→	知る	5
3	あり	7	→	ある	4
4	みる	6	→	見る	16
5	鳴く	5	→	×	
名詞					
順位	百人一首の単語	頻度数		流行歌の単語	頻度数
1	人	18	→	人	5
2	もの	11	→	もの	3
2	月	11	→	三日月	1
3	秋	9	→	秋	2

4	身	8	→	身の程	1
5	夜	7	→	夜	6
代名詞					
順位	百人一首の単語	頻度数		流行歌の単語	頻度数
1	わ	11	→	私	7
2	こ	4	→	×	
3	いづこ	2	→	どこ	2
3	君	2	→	君	44
3	誰	2	→	誰	6
4	いつ	1	→	いつ	4
4	おのれ	1	→	自分	6
4	これ	1	→	これ	1
4	そ	1	→	×	
4	それ	1	→	それ	6
4	われ	1	→	×	

次に、流行歌で頻度が高かった単語と百人一首の単語の対応を示す。

〈表2 流行歌で頻度が高かった単語と百人一首の単語の対応〉

形容詞					
順位	流行歌の単語	頻度数		百人一首の単語	頻度数
1	ない	8	→	なし	6
2	いい	6	→	×	
2	強い	6	→	×	
3	遠い	5	→	遠し	1
4	辛い	4	→	憂し	4
動詞					
順位	流行歌の単語	頻度数		百人一首の単語	頻度数
1	いる	20	→	あり	7
2	見る	16	→	見る、みる	10
3	なる	14	→	なる	3
3	笑う	14	→	×	
4	する	13	→	す	4
5	生きる	12	→	×	

名詞					
順位	流行歌の単語	頻度数		百人一首の単語	
1	空	14	→	雲居	1
1	心	14	→	心	5
2	愛	13	→	×	
3	時	10	→	時	1
3	中	10	→	×	
3	明日	10	→	×	
4	想い	9	→	思ひ	1
4	涙	9	→	涙	2
5	胸	8	→	×	
代名詞					
順位	流行歌の単語	頻度数		百人一首の単語	
1	君	44	→	君	2
2	僕	21	→	×	
3	あなた	18	→	×	
4	私	7	→	わ	11
5	自分	6	→	おのれ	1
5	それ	6	→	それ	1
5	誰	6	→	誰	2

以上が調査結果である。次節ではこの結果をもとに考察を行う。なお、考察を行う際には頻度数が上位5つに入っていない単語についても、比較的順位が高い場合は必要に応じて適宜言及を行うことにする。言及する単語を具体的に述べると、百人一首の単語では「聞く（7位）」、「吹く（6位）」、「花（6位）」、「風（6位）」、流行歌の単語では「信じる（6位）」、「愛する（7位）」、「泣く（7位）」、「届く（8位）」である。

5. 考察

5. 1. 百人一首の語彙と流行歌の語彙の特徴

百人一首では、形容詞は「憂し」「つれなし」「悲し」などのマイナスな感情を表す語はあったが、「嬉し」「楽し」などのプラスな感情の意味を表す語はなかった。動詞は「思ふ」「知る」「みる」「聞く」など自分自身の動作を表す動

詞が多く、積極的に何かに対して働きかける語が少なかった。また、動物が「鳴く」、風が「吹く」など、身の回りの自分以外の動きを表す語も比較的多かった。名詞では「人」「もの」「身」が上位にきており、抽象的な表現が多い。また、「月」「花」「風」などの自然を表す語が多く使われていた。代名詞は「わ」の使用が多く、相手のことを示す「君・誰」という語はそれぞれ2回しか使用されていなかった。

これらのことから、昔の人は直接的な言葉で感情を表現するのではなく、自分を軸に周辺の物事を捉え、間接的な言葉を使用して自分の恋する気持ちや自然の美しさなどを表していたと考えられる。

それに対し流行歌では、形容詞は「ない」「辛い」といったマイナスな単語もあったが、「いい」「強い」などのプラスな意味の単語も上位にきていた。動詞では「笑う」「生きる」「信じる」「愛する」「泣く」「届く」など感情を表す動詞や相手に対して働きかける動詞が多く用いられていた。名詞でも「心」「愛」「想い」など気持ちを表す語が多く、百人一首と比べて季節や自然を表す語は非常に少なかった。代名詞は「君」「あなた」が合わせて62回、「僕」「私」が合わせて28回となっており、相手をはっきりと意識しながら、自分の感情を直接的な表現で伝えようとしていると考えられる。ここまでの分析は、既に先行研究で指摘されていることとほぼ同様であるといつてよい。

しかし、これらの結果を国語教育という観点からみると異なる見解を示すこともできる。

それは、「現代は相手を意識し感情を直接的な言葉で表現することが多いため、自分を軸として間接的な表現が多い古典の表現は、生徒たちにとって分かりにくいのではないだろうか。」ということである。逆を言えば、古典に親しみを持ってもらうためには、直接的な感情を持つ単語に注目した方が良いということでもある。このような観点から、本稿では「思ふ」と「思う」「想う」という単語に着目した。次節でその詳細を述べる。

5. 2. 「思ふ」と「思う・想う」の用例

「思ふ」は百人一首で13回、流行歌では「思う」「想う」が合わせて6回出てきており、百人一首での使用が多い単語である。まずは百人一首での用例についてみていく。

〈百人一首の「思ふ」〉

- ・ わびぬれば 今とは同じ 難波なる みをつくしても 逢はむとぞ思ふ
(20 番歌 元良親王 恋) →自分の身を滅ぼしても逢いたいと思う
- ・ 山里は 冬ぞさびしき まさりける 人目も草も かれぬと思へば
(28 番歌 源宗朝臣 冬) →人も離る、草木も枯れると思う
- ・ 忘らるる 身をば思はず 誓ひてし 人の命の 惜しくもあるかな
(38 番歌 右近 恋)
→(相手に)自分のことを忘れられてしまうことはなんとも思わない
- ・ しのぶれど 色に出でにけり わが恋は ものや思ふと 人の間ふまで
(40 番歌 平兼盛 恋) →恋のもの思い
- ・ 逢ひ見ての のちの心に くらぶれば 昔はものを 思はざりけり
(43 番歌 権中納言敦忠 恋) →恋のもの思い
- ・ 風をいたみ 岩うつ波の おのれのみ くだけてものを 思ふころかな
(48 番歌 源重之 恋) →心が碎けるばかりの恋のもの思い
- ・ みかきもり 衛士のたく火の 夜は燃え 昼は消えつつ ものをこそ思へ
(49 番歌 大中臣能宣 恋) →恋のもの思い
- ・ 君がため 惜しからざりし 命さへ 長くもがなと 思ひけるかな
(50 番歌 藤原義孝 恋) →命が惜しいと思う
- ・ もろともに あはれと思へ 山桜 花よりほかに 知る人もなし
(66 番歌 前大僧正行尊 恋) →しみじみといとしく思う
- ・ 長からむ 心も知らず 黒髪の 乱れて今朝は ものをこそ思へ
(80 番歌 待賢門院堀河 恋) →恋のもの思い
- ・ 瀬をはやみ 岩にせかるる 滝川の われても末に あはむとぞ思ふ
(77 番歌 崇徳院 恋) →別れてもまた逢おうと思う
- ・ 嘆けとて 月やはものを 思はする かこち顔なる わが涙かな
(86 番歌 西行法師 恋) →恋のもの思い
- ・ 人も惜し 人も恨めし あぢきなく 世を思ふゆゑに もの思ふ身は
(99 番歌 後鳥羽院 雑) →この世をおもしろくないと思う

百人一首で「思ふ」は「恋のもの思い」を表す用法が6つあり、他の用法でも「逢いたいと思う」といったように、恋の歌での使用が多い。ここから、百人一首で「思ふ」という語を使うときには強い感情が込められていることがうかがえる。次に流行歌での用例をみていきたい。

〈流行歌の「思う」「想う」〉

- ・ 赤く染まる私の鼻を可愛いと言う あなたに出会えて本当に嬉しく思う
 たくさんのあなたとのアルバム達もメールも 大切な私の宝物だから
 (倅田來未 someday 2006年) →あなたと出会えたことが嬉しいと思う
- ・ 寂しいと想う夜に 雪となり 空から舞い降り 君のこと包み込み
 今すぐ抱きしめるから 忘れないで ふたり過ごした時間を…
 (倅田來未 運命 2007年) →寂しいと想う
- ・ 退屈な毎日が急に輝きだした あなたが現れたあの日から
 孤独でも辛くても平気だと思えた
 I'm just a prisoner of love just a prisoner of love
 (宇多田ヒカル Prisoner Of Love 2008年) →孤独でも辛くても平気だと思う
- ・ あの日キミに出会えたこと ただそれだけで何もかも 幸せだったと思える
 どんときも愛したこと かけがえのないあの笑顔 忘れない…キミのこと
 (Lil'B キミに歌ったラブソング 2008年) →幸せだったと思う
- ・ あれから 数えきれないほど 夢を叶えてきたけど 心はまだ 君を思っ
 てるよ あなたが ずっとあなたらしく 生き続けられるように 変わらない
 思い抱き締めながら
 (EXILE Someday 2009年) →君を思う
- ・ 会いたくて会いたくて 震える 君想うほど遠く感じて
 もう一度二人戻れたら… 届かない想い my heart and feelings
 会いたって願っても会えない 強く想うほど辛くなって
 もう一度聞かせて嘘でも あの日のように “好きだよ” って…
 (西野カナ 会いたくて会いたくて 2010年) →君を思う

流行歌で「思う」「想う」を使う時は、「○○と思う」の形で、ある感情を抱いている時や「君」を思っている時に使われる。百人一首での「思ふ」に比べて「思う」「想う」にはそれほど強い感情は読み取れない。

以上のことから、「思ふ」という言葉は間接的な表現のように思えるが、実は古典の世界では強い感情を表す語である。現代でも使われている言葉だが、その言葉の感覚は昔と現代とで異なる。そこで、この違い（つまり、現代でも「思う」という言葉は使われているが、古語の方が強い感情を示している）を示すことで、生徒にとって面白く親しみの持てる古典の授業ができるのではないかと考えた。なぜなら、現代の人は直接的な表現で感情を表すことが多いため、強い感情を表す「思ふ」という語が親しみやすいと考えられるからである。

6. 学習指導案の提案：生徒にとって親しみやすい古典の授業とは

前節までの考察を踏まえて、「思ふ」という語を中心に、古典に苦手意識がある生徒が、古典により親しみを持ってもらえるような授業を以下のように提案する。対象は本格的に古典を学習し始める高校1年生で、古典学習の導入として百人一首を活用したものである。

【国語科学習指導案】

1. 対象：高校1年生
2. 単元名：『小倉百人一首』
3. 単元設定の理由

〈教材観〉

『小倉百人一首』は、おおむね十世紀初めの『古今和歌集』の時代から十三世紀初頭の『新古今和歌集』の時代までの間の百人の歌人の歌が、藤原定家によって一首ずつ選歌されたものを収めた歌集である（鈴木日出男・山口慎一・依田泰（2005）『シグマベスト 原色百人一首』を参照）。

和歌は三十一字という限られた文字数のなかで昔の人の思いが込められているため、昔の人のものの考え方や感受性について学ぶのに有効である。なかでも『小倉百人一首』は、小学校や中学校で暗唱やかるた大会等を通して一度は触れたことのある教材であり、古典学習の導入として適した教材であるといえる。

〈指導観〉

古典は苦手とする生徒が多いため、本格的な古典教育が始まる高校1年生の段階で、古典に興味・関心をもってもらえるような工夫が必要である。そこで今回は、生徒にとって身近な流行歌の語彙、百人一首の語彙とを比較することで、古典に少しでも親しみを持ってもらえるようにした。昔の人と現代の人の言葉の使い方の類似点・相違点などから、昔の人と現代の自分たちの感情表現の仕方を知り、昔の作品と今の作品を結びつけられるようにする。

そして具体的には「思ふ」という単語を取り上げる。「思ふ」は間接的な表現のように思えるが、実は古典では強い感情を表す語である。現代でも使われている言葉だが、その言葉の感覚は昔と現代とで異なる。そこで、この違いを示すことで、生徒にとって面白く親しみの持てる古典の授業ができるのではないかと考えた。また、古語と現代語を比較することで日本語という言語にも敏感になってもらえるよう、語彙という視点からのアプローチを試みた。

百人一首と流行歌の語彙を通して昔の人ものの考え方や感受性を学ぶことで、これからの古典学習がより楽しいものになるようにしたい。

4. 単元の目標

- (1) 百人一首の語彙と流行歌の語彙を比較することで、昔と今の表現方法の違いを知ろうとする。 (関心・意欲・態度)
- (2) 百人一首の語彙に着目して、自分なりの和歌の解釈を考えながら、歌意を読み取ろうとする。 (読むこと)
- (3) 和歌で使用されている基本古語を身に付け、語句の意味・用法を理解することができる。 (知識・理解・技能)

5. 評価規準

- (1) 百人一首の語彙と流行歌の語彙を比較することで、昔と今の表現方法の違いを知ろうとしている。 (関心・意欲・態度)
- (2) 百人一首の語彙に着目して、自分なりの和歌の解釈を考えながら、歌意を読み取っている。 (読むこと)
- (3) 和歌で使用されている基本古語を身に付け、語句の意味・用法を理解している。 (知識・理解・技能)

6. 単元の指導計画 (全2時間)

時	学習活動	評価規準 (○)・評価方法 (■)
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 百人一首と現代流行歌の動詞・形容詞・名詞・代名詞で使用頻度の高い単語について知る。 ・ 百人一首と流行歌の使用頻度の高い単語の結果から、昔の人と現代の人の表現の特徴について話し合い、まとめる。 ・ 百人一首と流行歌で用法に違いのあった動詞「思ふ」が使用されている和歌を一首ずつ読み味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○百人一首と流行歌の特徴的な語彙に着目し、比較している。 ○話し合いに積極的に参加している。 ○和歌を自分なりに解釈しようとしている。 ○基本古語を辞書で調べ、歌意を読み取っている。 ■発言 ■観察・机間指導 ■ワークシート

2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時にひき続き、百人一首の語彙と流行歌の語彙との表現の違いに着目しながら、動詞「思ふ」が使用されている歌を一首ずつ読み味わう。 ・ 昔の人の「思ふ」と現代の人の「思う」「想う」の違いをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○百人一首と流行歌の特徴的な語彙に着目し、比較している。 ○和歌を自分なりに解釈しようとしている。 ○基本古語を辞書で調べ、歌意を読み取っている。 ■発言 ■観察・机間指導 ■ワークシート
---	--	---

7. 本時の展開（第1時）

〈目標〉

百人一首の語彙と流行歌の語彙を比較して、昔の人の言葉の使用の仕方や表現方法について知る。

〈評価規準〉

百人一首と流行歌のそれぞれの語彙の特徴について理解している。

百人一首での「思ふ」と、流行歌での「思う」「想う」の言葉の使われ方の違いから、昔の人のものの考え方を読み味わっている。

〈本時の展開〉

	学習活動 主な発言 (○)	教師の支援	評価規準 (○) 評価方法 (■)
導入 (5分)	1. 百人一首の成立と全体の構成について学ぶ。 ○百人一首でかたるた大会等をしたことがあるか。 ○百人一首で暗唱している歌はあるか。	・ 百人一首の成立と構成について説明し、板書をしてまとめる。	
	1. 百人一首と流行歌で、使用頻度の高い単語について考え、どんな単語が多いか話し合う。	・ 話し合いの時はどんな意見が出ているか机間指導を行う。	○話し合いに積極的に参加している。 ○積極的に発言している。

<p>展開① (20分)</p>	<p>2. 話し合いで出た意見をまとめる。</p> <p>○百人一首ではどんな言葉が多く使われているか。</p> <p>○流行歌ではどんな言葉が多く使われているか。</p> <p>3. 百人一首と流行歌で使用頻度の高い単語を動詞・形容詞・名詞・代名詞の品詞別にまとめる。</p> <p>4. 百人一首と流行歌の使用頻度の高い語彙の結果から、昔の人と現代の人の言葉の使い方の特徴について考え、意見を出し合う。</p>	<p>・ 発問は複数の生徒に当て、なぜその単語が多いと思ったのか理由等も尋ねる。</p> <p>・ 生徒から出た意見と実際の答えを合わせて板書する。</p>	<p>■発言</p> <p>■机間指導</p>
<p>展開② (20分)</p>	<p>1. 百人一首と流行歌の両方で使用されているが、用法が異なる「思ふ」について、「思ふ」が使用されている和歌を一首ずつ読み味わう。</p> <p>2. まず和歌だけを見て、どんな歌意なのか分かる範囲で自分なりの解釈をワークシートに書く。</p> <p>○どんな意味の歌か。</p> <p>○何を「思っ」ているのか。</p> <p>3. 辞書で分からなかった単語を調べ、和歌の歌意を読み味わう。</p> <p>○それぞれの単語はどんな意味だったか。</p>	<p>・ どんな解釈をしたか、複数の生徒に当て、一人一人の視点をみんなで比べる。</p> <p>・ 流行歌での「思う」「想う」の用例を示し、百人一首との違いを示す。</p>	<p>○和歌の言葉から、自分なりの歌の解釈をしている。</p> <p>○昔の人が何を思っていたのか考え、理解している。</p> <p>○辞書を引き、分からなかった単語を調べている。</p> <p>■発言</p> <p>■ワークシート (本時の終了後に回収)</p>

まとめ (5分)	1.「思ふ」という言葉から、昔の人が何を「思っ」ていたのかをまとめる。	・昔の人が「思っ」ていたこと、本時で扱った和歌について板書をしてまとめる。	○百人一首で「思ふ」という語を使うときには強い感情が込められていることを理解している。
-------------	-------------------------------------	---------------------------------------	---

7. おわりに

古典は、生徒が苦手意識を持たないように導入部分の工夫が必要な教科である。また、同時に古典は日本語について知るといっても非常に重要な教科である。今回は、古典を親しみの持てる教科にしたいという思いから百人一首と流行歌の語彙に着目し、古典学習の導入としての授業案について述べたが、今後は流行歌に限らず他にも身近なものを古典教育の導入として使用する方法について検討していきたい。また、基本古語の指導や日本語の言葉の変遷、日本語の表現など、日本語という言語に焦点を当てた国語教育について引き続き考えていきたいと考えている。

注

- 1 ここでの対応とは、百人一首を現代語訳した際に、百人一首における、その古語の持つ意味と最も近い流行歌の単語を当てたことをいう。なお、現代語訳は、鈴木日出男・山口慎一・依田泰（2005）『シグマベスト 原色百人一首』を参考にした。
- 2 形容詞は、5位まで入れてしまうと頻度数が1になってしまうため、上位4位までとした。

参考文献

- 五十嵐一郎（2010）「生涯にわたり古典に親しみを抱き続ける学習指導」『日本語学』29（3）：50-58
- 石原直哉（2011）「現代語訳で読み味わう「源氏物語」」『日本語学』30（4）：48-57
- 奥村準子（2008）「小倉百人一首を活用した古典教育の実践―「古典嫌い」克服をめざす学習の展開―」『月刊国語教育研究』43（2）：22-27

- 鎌田政司 (2006)「古典(古文)に親しませる入門指導の展開—傍注資料」の活用と「学習の手引き」の工夫—『月刊国語教育研究』41 (12) : 22-27
- 河合一也 (2003)「高等学校における古典授業の活性化を目指して—「いらない」、「つまらない」を言わせないために—」『月刊国語教育研究』38 (12) : 22-27
- 鈴木日出男・山口慎一・依田泰 (2005)『シグマベスト 原色百人一首』東京：文英堂
- 武田孝「百人一首の語彙について」『和光大学人文学部紀要(梅根悟博士喜寿記念論文集)』14 : 133-162
- 鳴島甫 (2007)「古典教育再考—七割もの生徒に嫌われている古典教育からの脱却—」『日本語学』26 (2) : 6-12
- 西辻正副 (2005)「高等学校における古典学習指導の現状と指導上の改善点」『月刊国語教育研究』39 (1) : 4-9
- 濱田美和 (2005)「日本語学習の観点から見た日本の流行歌の語彙的特徴」『富山大学留学生センター紀要』4 : 13-28
- 文部科学省 (2010)『高等学校学習指導要領解説 国語編』東京：教育出版
- 山田ゆう子 (2005)「「高校生のための小倉百人一首」美意識を育てる教材としての可能性」『国語の研究』31 : 1-12
- 国立教育政策研究所教育課程教育センター「平成 17 年度高等学校教育課程実施状況調査前回調査」(http://www.nier.go.jp/kaihatsu/katei_h17_h/index.htm) (閲覧日：2013.3.12)

【調査対象曲一覧】

調査対象曲は「オリコンスタイル」(<http://www.oricon.co.jp/>) (閲覧日：2013.3.12) のランキングから選曲を行った。

調査した歌詞は「歌詞検索サービス 歌ネット」(<http://www.uta-net.com/>) (閲覧日：2013.3.12) に依った。

2006 年		
1	Real Face	KAT-TUN
2	粉雪	レミオロメン
3	抱いてセニョリータ	山下智久
4	ただ…逢いたくて	EXILE
5	しるし	Mr.Children
6	純恋歌	湘南乃風
7	supernova	BUMP OF CHIKEN
8	タイヨウのうた	Kaoru Amane

9	Dear WOMAN	SMAP
10	僕らの街で	KAT-TUN
11	恋のつぼみ	倅田來未
12	Presious	伊藤由奈
13	三日月	絢香
14	桜	コブクロ
15	マタアイマショウ	SEAMO
16	宙船	TOKIO
17	milk tea	福山雅治
18	SNOW!SNOW!SNOW!	KinKi Kids
19	someday	幸田來未
20	決意の朝に	Aqua Times
2007年		
21	千の風になって	秋山雅史
22	Flavor Of Life	宇多田ヒカル
23	蕾	コブクロ
24	Love so sweet	嵐
25	Keep the faith	KAT-TUN
26	明日晴れるかな	桑田佳祐
27	旅立ちの唄	Mr.Children
28	関風ファイティング	関ジャニ∞
29	weeeeek	NEWS
30	WINDING ROAD	絢香×コブクロ
31	愛唄	GreeeeN
32	Lovers Again	EXILE
33	Lovin' Life	FUNKY MONKY BABYS
34	イケナイ太陽	ORANGE RANGE
35	Baby Don't Cry	安室奈美恵
36	運命	倅田來未
37	CHE..R..RY	YUI
38	花の名	BUNP OF CHIKEN
39	SUPER LOVE SONG	B'z
40	LIFE	中島美嘉

2008 年		
41	truth	嵐
42	One Love	嵐
43	I AM YOUR SINGER	サザンオールスターズ
44	キセキ	GreeeeN
45	羞恥心	羞恥心
46	HANABI	Mr.Children
47	DON'T U EVER STOP	KAT-TUN
48	吾亦紅	すぎもとまさと
49	崖の上のポニョ	藤岡藤巻と大橋のぞみ
50	そばにいるね	青山テルマ feat.Soulja
51	LIFE	キマグレン
52	Prisoner Of Love	宇多田ヒカル
53	君のすべてに	spontania feat.JUJU
54	Ti Amo	EXILE
55	もう一度…feat.BENI	童子 - T
56	虹	Aqua Times
57	出会いのカケラ	ケツメイシ
58	Pure	EXILE
59	キミに歌ったラブソング	Lil'B
60	NEW LOOK	安室奈美恵
2009 年		
61	Believe	嵐
62	明日の記憶	嵐
63	愛のままで…	秋元順子
64	イチブトゼンブ	B'z
65	ONE DROP	KAT-TUN
66	ひまわり	遊助
67	急☆上☆ show!	関ジャニ∞
68	恋の ABO	NEWS
69	刹那	GreeeeN
70	優しい光	EXILE
71	明日がくるなら	JUJU with JAY'ED

72	遙か	Greeeen
73	ふたつの唇	EXILE
74	Love Forever	加藤ミリヤ×清水翔太
75	歩み	Greeeen
76	やさしさに溢れるように	JUJU
77	Aitai	加藤ミリヤ
78	キミが好きで	Lil'B
79	もっと…	西野カナ
80	someday	EXILE
2010年		
81	Beginner	AKB48
82	ヘビーローテーション	AKB48
83	Trouble maker	嵐
84	果てない空	嵐
85	Dear snow	嵐
86	Love yourself ～君が嫌いな君が好き～	KAT-TUN
87	桜の葉	AKB48
88	YELL	いきものがかり
89	会いたくて会いたくて	西野カナ
90	Butterfly	木村カエラ
91	Best Friend	西野カナ
92	if	西野カナ
93	春夏秋冬	ヒルクライム
94	また君に恋してる	坂本冬美
95	もっと強く	EXILE
96	FOREVER LOVE	清水翔太×加藤ミリヤ
97	はつ恋	福山雅治
98	Hello,Again ～昔からある場所～	JUJU
99	ありがとう	いきものがかり
100	涙	FUNKY MONKY BABYS

(まつお あゆむ・千葉大学大学院教育学研究科修士課程

実践女子大学文学部国文学科平成24年度卒業)